

2020 年中の交通事故/警察庁まとめ②
(二輪車新聞 7月23日号から)

警察庁のまとめによると、2020年の二輪車乗車中の死者数(24時間死者数)のうち、二輪車乗車中死者数は、原動機付自転車(道交法でいう総排気量50cc以下)乗車中の141人と自動二輪車(同51cc以上)乗車中(同乗中を含む)の385人を合わせて526人(前年比16人=3.1%増)であった。

これを原付乗車中、自動二輪車乗車中それぞれを年齢層別にみると、原付乗車中死者数は65歳以上の高齢者が4割を占め、自動二輪車乗車中死者数は中高年層が目立つ(図1)。

原付乗車中死者数 141人(前年比8人=5.4%減)の年齢層別内訳をみると(括弧内は対前年増減)、15~19歳9人(増減なし)、20~24歳8人(1人=14.3%増)、25~29歳5人(1人=25.0%増)、30~34歳3人(1人=25.0%減)、35~39歳6人(1人=14.3%減)、40~44歳9人(5人=25.0%増)、45~49歳7人(6人=46.2%減)、50~54歳15人(9人=150.0%増)、55~59歳10人(2人=16.7%減)、60~64歳12人(3人=33.3%増)、65~69歳16人(1人=6.7%増)、70~74歳10人(2人=16.7%減)、75~79歳15人(3人=16.7%減)、80~84歳9人(7人=43.8%減)、85歳以上7人(6人=46.2%減)となった(図2)。

これを構成率でみると、多い順で①65~69歳11.3%、②50~54歳10.6%、③75~79歳10.6%、④60~64歳8.5%、⑤70~74歳7.1%の順で多く、65歳以上の高齢者が全体の40.4%を占める。

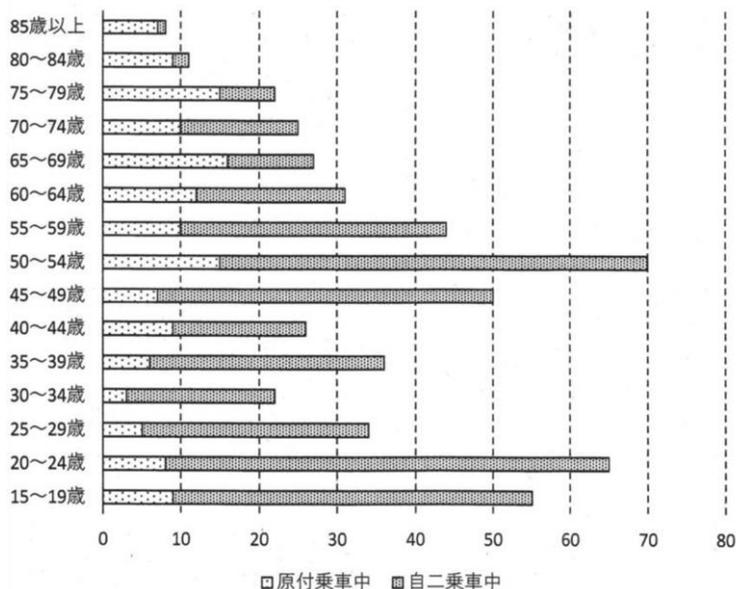


図1 2020年 二輪車乗車中死者数 年齢層別

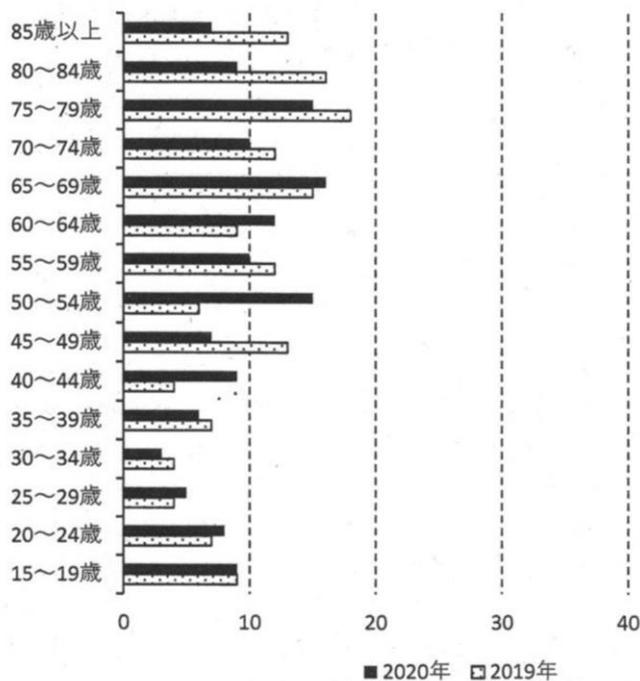


図2 原付乗車中死者数 年齢層別 対前年比較

なお、65歳未満は84人(9人=12.0%増)、65歳以上は57人(17人=23.0%減)となっている。

自動二輪車乗車中死者数(同乗中を含む)385人(24人=6.6%増)の年齢層別内訳をみると(括弧内は対前年増減)、15～19歳46人(4人=8.0%減)、20～24歳57人(4人=7.5%増)、25～29歳29人(11人=61.1%増)、30～34歳19人(2人=11.8%増)、35～39歳30人(14人=87.5%増)、40～44歳17人(11人=39.3%減)、45～49歳43人(4人=8.5%減)、50～54歳55人(11人=25.0%増)、55～59歳34人(5人=12.8%減)、60～64歳19人(3人=13.6%減)、65～69歳11人(3人=21.4%減)、70～74歳15人(10人=200.0%増)、75～79歳7人(3人=75.0%増)、80～84歳2人(1人=33.3%減)、85歳以上1人(増減なし)となった(図3)。

これを構成率で見ると、多い順で①50～54歳14.3%、②45～49歳11.2%、③55～59歳8.8%の順に多く、これらで全体の34.3%を占める。65歳以上の高齢者で見ると9.4%と、原付の傾向とは異なる。

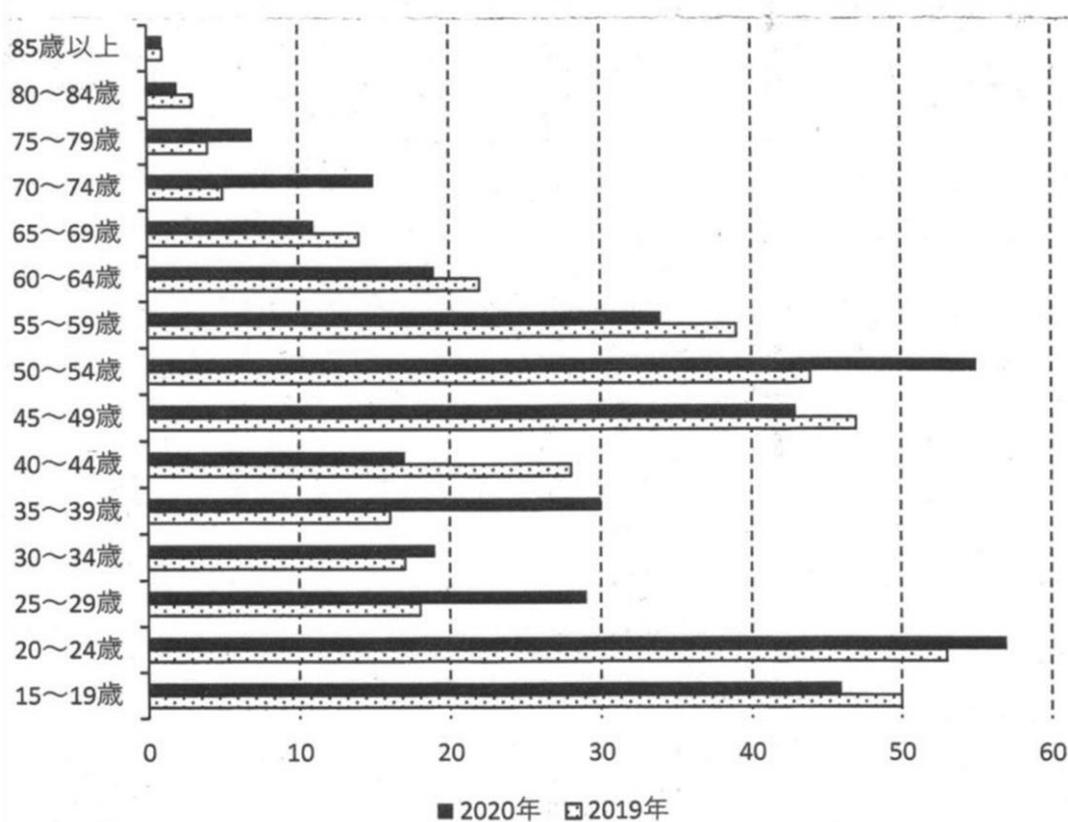


図3 自動二輪車乗車中死者数 年齢層別 対前年比較

以上